

ワ族の歌に関する語彙体系

山田敦士（日本医療大学）

1. はじめに

中国雲南省西南部からミャンマー連邦シャン州東部、タイ北部にかけて居住する少数民族ワ族（モン・クメール語族）¹について、その民族文化的な表象として、歌や踊りが強調されることがある。しかし、ワ語には「歌」に相当する包括的な概念語が存在せず、その種類もよくわかっていない²。

中国の百科事典である《中国大百科全书》の“佤族音乐（ワ族音楽）”の項目をみると、ワ族の民間音楽は“民歌”“歌舞音乐（歌舞音楽）”“民间器乐（民間器楽）”の3種類に分類されている。“民歌”はさらに“山歌”“玩耍歌”“风俗歌（風俗歌）”“劳动歌（労働歌）”“情歌”“儿歌（児歌）”の6種類に分けられ、“歌舞音乐”は歌を伴う“歌舞”と歌を伴わない“乐舞（楽舞）”とで区別される。この記載の根拠は不明ながら、「（歌とは）音楽的・言語的形式に従った発声行為」という梶丸（2013）の定義に従えば、6種類の“民歌”と歌を伴う“歌舞”あたりが本研究の射程といえよう。以下では、先行研究および発表者自身のフィールド調査資料に基づき、ワ族の歌に関する語彙の整理と初期的分析を試みる。

2. 歌のジャンルに関する名称

ワ族の歌に関する文献は多くない。特に歌のジャンルやその原語形式に言及しているものとなると、管見では、中国民間歌曲集成云南卷編委会办公室（編）（不明）、趙（2000, 2006）、李（2002）の4点に限られる。次ページに示すのは、四つの文献の分類を対照しつつ、発表者自身のフィールド調査に収集した情報を加えた一覧表である。それぞれの対応関係はあくまで推定であるが、暫定的に、少なくとも①～⑨の九つに整理しておく。ただし、これは同一基準・テーマによる厳密な意味での「分類」というわけではない。以下、検討されるべき課題を2点指摘しておく。

(1) 視点の混在

先行研究の記述は、その視点が一定ではなく、ジャンルの列挙にとどまっている。それぞれの属性の根拠を明確な形式的特徴に置く場合がありつつも、他方では歌の場や歌の内容を基盤とすることもある。そのため、整理後でも①～⑤は歌い方、⑥～⑧は歌う場に注目したジャンルになってしまった。また、特に場や内容を基準としたジャンルでは、漢語名称が先行しており、ワ語の名称はむしろ直訳的とさえ感じられることもある。総じて、漢文化的な視点が介在していることが強く推定される。

(2) 言語単位の不統一

話者の認識を体系化する場合、体系を織りなす言語単位の整合性も重要な視点になる。例えば、語と句では範疇化のレベルが異なり、必然的に文化的なあり様も違うものと想像される。上述の漢文化的なジャンル名称の場合、語（名詞）ではなく名詞句と分析されるものが多く、文献間で形式的な違いを示すことも多い。一方で、分類名称が語表現である場合、文献間での差異は大きくない。民族言語学的には、語形式による一次的な表現体系と句形式による二次的な表現体系を区別することも可能かもしれない。

¹ 本発表でワ族やワ語という場合、パラウク支系およびその言語（パラウク・ワ語）を指すものとする。パラウク支系は中国の“佤族”の威信集団であり、その言語音は正書法表記の基準となっている。なお、先行文献への言及を考え、本発表ではワ語形式を正書法表記によって記すこととする。正書法表記を含め、ワ族やワ語の言語文化の詳細は、山田（2009, 2020）を参照されたい。

² ワ語は単音節性を強く示す言語であり、基礎語彙は単音節にて示される傾向がある。意味的抽象性の高い語彙は、複合による多音節語、または外来語の借用によって示されるケースが多い。例えば、陳（2015:74）では「音楽」という概念について、loux lái qang go（音声、文字、歌う、歌）「歌を歌う文字音声」という逐語的な表現をしている。

表1. 歌ジャンルに関する表現形式

中国民间歌曲集成云南卷 编委会办公室 编 (不明)	李 (2002)	赵 (2000:144)	赵 (2006:244)	その他	ジャンル名
	loux nqom gab “山歌”		nqom gab “_____”		
loux ngeeci “山歌”	loux ngeeci “山歌”	loux ngeeci “平吟唱歌”	loux ngeeci “平吟唱调”		① loux ngeeci
	loux glao “山歌”	glao “共乐歌”	glao “共乐歌”		② (loux) glao
		brie “欢呼歌”	brie “欢呼歌”		③ brie(~blie)
loux glien mai mgao tiao “歌舞曲”	loux mai nkraoh “歌舞”	nkreh “踏歌”	nkreh “踏歌”	mgtrong mgraoh(~nkraoh) “打歌”	④ loux glien mai mgao tiao, mgtrong nkraoh(~nkreh~mgraoh), loux mai nkraoh(~nkreh~mgraoh)
— “风习歌曲”	loux dai nbéen oud glao “_____” blie “_____” nkreh “_____”				
nqom loux ah “唱调”	nqom loux ah “唱调”	loux ah “清唱歌”	loux ah “唱调”		⑤ (nqom) loux ah
— “劳动歌曲”	loux (ah) ndaex gang loux glieh “玩调”				
loux glieh “玩调”	loux glieh “玩调”	loux glieh “玩耍歌”	loux glieh “玩调”		⑥ loux glieh
loux glih gon nyom “儿歌”	loux nqom glieh gon nyom “儿歌”	loux glieh gon nyöm “儿歌”	loux glieh gon nyöm “儿歌”		⑦ loux (nqom) glieh(~glih) gon nyöm
		loux mglai gon nyöm “摇篮曲”	loux mglai gon nyöm “摇篮曲”		⑧ loux mglai gon nyöm
				loux hrax “_____”	⑨ loux hrax

上段のローマ字がワ語形式、下段の“ ”が中国語の対訳形式 (——は対応形式が見当たらないことを示す)

(~)は異形態の関係、()は非必須であることを示す

3. 定型性について

ワ族の歌文化を調査していると、*nqom gab* という言葉を耳にすることがある。*nqom gab* について、李 (2002) はこれを歌の一ジャンル (の構成要素) と見做し、趙 (2006) は“自由体” (自由律) に対する“格律体” (定型律) という大分類と見做している。表現を構造的に分析すれば、*nqom* は「性質、特徴」、*gab* は「合わせる、合流する」であり、*nqom gab* とは「合わせ特徴」となる。この字義をみる限り、*nqom gab* とは、“山歌”といった特定の歌ジャンルや“格律体” (定型律) といった大分類そのものではない。むしろ、“山歌”らしさや“格律体” (定型律) らしさを担保する、形式的な同質性 (定型性) を指すものと考えたい。

以下、*nqom gab* が認められる歌の事例を3例挙げる。なお、語積をつける便宜上、多音節語は₂で結んである。

例 (1)

A)	yām	gaoh	eix	kaing	si ₂ ngīan	rang	
	時	起きる	私たち	～より	裂け目	岩	
B)	eix	gon	ih	boud	giab	hlax ₂ lai	
	私たち	(依然)	着る	常に	履物	シュロの一種	
C)	yām	gaoh	eix	kaing	si ₂ mgang	ged	
	時	起きる	私たち	～より	スガン	再生する	
D)	eix	gon	ih	boud	ndai	hlax	dūx
	私たち	(依然)	着る	常に	腰巻	葉	まばらな

(歌詞の意味)

我々が岩の割れ目から出てきた頃、
我々はまだ粗末な履物を履いていた。
我々が再生のスガンから出てきた頃、
我々はまだ粗末な腰巻を身に着けていた。

(李 2002:6 より一部表記を修正)

例 (1) では、A - B が意味統語的な一単位、C - D が意味統語的な一単位 (以下、段と呼ぶ) であり、各段は上句と下句の2句で構成される。こうした2段4句の対句的構成がワ族の典型的な歌のかたちである。また、各段各句の定型性は音韻面に顕著である。例えば、一句を構成する音節数は7が一般的であり、例 (1) では2段4句のすべてが7音節と統一である。なお、例 (1) A句における5音節目の *si* は母音が不安定で、常に後の音節に寄り掛かるかたちで存在する特殊な音節 (副音節; *minorsyllable*) であるが、C句の5音節目も副音節で揃えられており、音韻的同質性への意識がうかがえる。

次の例 (2) も A - B が意味統語的な一単位、C - D が意味統語的な一単位の2段構成である。例 (1) と異なり、各段内の上句と下句の音節数は一致しない。しかし、対句的に認識される A と C はともに7音節で一致、B と D はともに8音節で一致する。

例 (2)

A)	si ₂ ndūx	vāig	eix	oux	dīx	bang	
	柄	刀	私たち	いる	1	～株	
B)	hoig	mōh	si ₂ mgū	dāe	ang	dang	nyīex
	(完了)	である	シグ族	一緒	(否定)	異なる	家
C)	si ₂ mgang	līh	eix	ndaex	dīx	mu	
	スガン	出る	私たち	穴	1	～個	
D)	hoig	mōh	si ₂ nīex	dāe	ang	dang	rū
	(完了)	である	シネ族	一緒	(否定)	異なる	氏

(歌詞の意味)

我々の刀の柄は同じ株にある。
シグ族はもう一体、家は別ではない。
我々が出でたスガンは一つの穴である。
シネ族はもう一体、氏は別ではない。

(趙 2006:250 より一部表記を修正)

例 (2) では、音節数の特徴に加え、韻律の特徴も認められる。例えば趙 (2006) は、上段上句 (つまり A 句) の最終音節 *bang* と下段上句 (つまり C 句) の初頭語 *si₂mgang* の韻母 (*ang*) の一致、さらに下段上句 (つまり C 句) の最終字句の *mu* と上段上句 (つまり A 句) における初頭語 *si₂ndūx* の韻母 (*u* と *ūx*) に近似性を指摘する³。

³ 前者について、句の初頭が副音節 (韻母が不安定な附属的形式) であるため2音節目が押韻位置になった可能性がある。また、後者の押韻の機能は、歌詞を繰り返す際に下段と上段を結びつけることにあると推測される。

次の例 (3) も上記 2 例と同様, A - B が意味統語的な一単位, C - D が意味統語的な一単位である. この歌では A 句が 8 音節であり, 上段内の音節数も各段の上句同士の音節数も揃っていない.

例 (3)

A)	ang	si_yāox	sax	dāi	dīag	si_māox	
	(否定)	ウルシの一種	(未然)	開花する	野生	石	
B)	dox	dāi	si_yāox	mōh	dāi	ah	
	(仮説)	開花する	ウルシの一種	である	花	話す	
C)	ang	gon_pa	sax	ndēeih	nyīex	baox	
	(否定)	従姉妹	(未然)	戻る	家	舅父	
D)	dox	ndēeih	nyīex	baox	mōh	nbrah	kuan
	(仮説)	戻る	家	舅父	である	災難	魂

(歌詞の意味)

シヤオは野では花を咲かせない。
花が咲いたら, それは嘘花である。
従姉妹は舅父に戻ることはない。
戻ったのなら, それは災いである。

(赵 2006:251 より一部表記を修正)

例 (3) について, 赵 (2006) は, 上段上句 (A 句) の最終音節 māox と下段上句 (つまり C 句) の最終音節 baux の韻母が近似, さらに上段下句 (B 句) の 4 音節目の yāox と下段下句 (つまり D 句) における 4 音節目の baux の韻母が近似と, 例 (2) と異なる押韻パターンを指摘する. その一方で, 意味統語的な観点からは, A 句と C 句は VS 語順からなる否定文, C 句と D 句は dox を用いた仮定文という点で文の意味機能面も揃っている. このように, 定型性の表現形態は韻律的な型のみならず意味統語的な型にも及んでいるように思われる. その種類や優先度などはまだ不明なことが多い.

上記 3 例をみると, 定型性 nqom gab とは, 一かゼロかという性質のものではなく, 度合いの問題であることがうかがえる. 歌には, 祝詞のような nqom gab に対する要求が厳格なものがある一方, 歌謡曲のように nqom gab の縛りの緩やかな, 即興性や創造性が許されるものもある. ただし, 後者であっても nqom gab を意識したものは「優雅」と評価される. nqom gab は言語文化的な威信とも結びつく, 極めて民族言語文化的な特徴と考えられる.

なお, nqom gab による定型性との関係から九つのジャンルを見ると, nqom gab 色の濃いものほど名称が形式的に安定し (語の構造), nqom gab 色の薄いものほど名称が形式的に不安定 (句の構造) という特徴も見出せる. 総じて, 無文字社会であったワ族において, nqom gab は歌文化の拠り所であった可能性が指摘される.

4. まとめ

本発表では, 先行研究の検証を通じて, ワ族の歌に関する語彙や分類について考察してきた. その結果, nqom gab と呼ばれる定型性を担保する形式的特徴の存在が重要であることを明らかにした. 即興性や創造性のちょうど対極にある「言語文化的な拘束力」として, nqom gab の諸条件を詳しく分析していくことが今後の課題である.

謝辞 本発表は JSPS 科研費 (18H00663) および日本医療大学学術助成費 (令和 5 年度) を受けて実施された研究成果の一部である. フィールド調査に際し, ご協力いただいた方々にお礼を申し上げる.

参考文献

- 陈国庆 (2015). 侂语 366 句会话句, 社会科学文献出版社: 北京
- 梶丸岳 (2013). 山歌の民族誌—歌で詞藻 (ことば) を交わす, 京都大学学術出版会
- 李柏松 (2002). 侂族民歌, 云南民族出版社: 昆明
- 山田敦士 (2009). スガンリの記憶—中国雲南省ワ族の口頭伝承, 雄山閣
- 山田敦士 (2020). パラウク・ワ語, くろしお出版
- 赵岩社 (2000). 侂族生活方式, 云南民族出版社: 昆明
- 赵岩社 (2006). 侂语概论, 云南大学出版社: 昆明
- 中国民间歌曲集成云南卷编委会办公室 (編) (不明). 云南民间歌曲集成—云南卷初选稿汇编 临沧部分, (未公刊资料)